

■評価総括表

資料2

第1編 ごみ処理基本計画

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価理由	担当課	
基本目標	ごみの年間総排出量	ごみの年間総排出量	数値		A	目標達成率95.9%、前年度比7,711t減となったことから、Aとした。	資源循環課	
	市民1人1日当たりの排出量	市民1人1日当たりの排出量	数値			A	目標達成率97.1%、前年度比88.8g減となったことから、Aとした。	資源循環課
	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	数値			A	目標達成率95.0%、前年度比93.9g減となったことから、Aとした。	資源循環課
	リサイクル率	リサイクル率	数値			A	目標達成率90.0%、前年度比3.2ポイント増となったことから、Aとした。	資源循環課
	最終処分率	最終処分率	数値			A	目標達成率100.0%、前年度比1.2ポイント減となったことから、Aとした。	資源循環課

【基本方針I】ごみの発生抑制・再使用・再生利用の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価理由	担当課	
1. リデュースの推進	①マイバッグ運動・レジ袋対策の推進	活動実績	数値外		A	ホームページやチラシ配布による啓発及び、レジ袋の代替としての指定ごみ袋販売の働きかけを行ったことから、Aとした。	資源循環課	
2. リデュースの推進	①環境を意識したごみの排出抑制の啓発	市民1人1日当たりの排出量	数値		B	目標達成率97.1%、前年度比88.8g減となったことから、Aとした。	資源循環課	
	②ごみ減量・リサイクル推進店の活動支援	活動実績	数値外			B	ホームページ等を活用し周知を図ったものの、前年度と変わらず80店舗であったことから、Bとした。	資源循環課
	③生ごみ処理容器等の普及の推進	生ごみ処理容器等の購入基数	数値			B	目標282基(令和3年度実績)に対して、233基となり目標達成率82.9%であったことから、Bとした。	資源循環課
	④ごみの排出抑制・減量化に繋がる諸制度の検討	検討の有無	数値外			A	ごみ有料化・手数料改定やフードドライブを行ったことに加え、民間事業者と連携しながらプラスチック削減に繋がる取り組みを行うことができたことから、Aとした。	資源循環課

3. リユースの推進	①リサイクル市・フリーマーケット等の開催情報の提供	活動実績	数値外	A	-	-	資源循環課
	②リサイクル品展示室の活用推進	リサイクル品展示数	数値外		A	通常のリサイクル家具展示だけでなく、新規の取り組みを行い、(官公庁オークション)結果を残すことができたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
4. リサイクルの推進	①剪定枝資源化の推進	資源化実績	数値外	A	A	前年度比7+増の約606+の資源化を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	②適正分別のための情報提供	周知実績	数値外		A	プラスチック製容器包装類等の適正分別等に関するチラシを作成し、自治会回覧板及び広報掲示版で周知啓発を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	③集積場所における適正排出の指導	実施の有無	数値外		A	環境指導員地区会議などを通して、環境指導員に排出指導の依頼を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	④家電リサイクル推進の継続	周知実績	数値外		B	各種媒体において家電リサイクル法対象品目とその処理方法を周知を行いました。使用済小型家電の回収量は前年度比5,237kg減の20,617kgとなったことから、Bとした。	資源循環課
5. 事業系一般廃棄物の排出抑制・資源化の推進	①「4R推進事業者行動協定」の創出	実施の有無	数値外	B	-	-	資源循環課
	②多量排出事業者における減量化等計画書の提出	提出数	数値		A	多量排出事業者25社に対し、25社から減量化等計画書の提出があり、目標達成率100%となったことから、Aとした。	資源循環課
	③事業系ごみの排出状況の把握	実施の有無	数値		A	減量化等計画書を通じ、ごみ発生量の増減の理由や減量化・資源化に対する具体的な取り組みについて把握できたことから、Aとした。	資源循環課
	④事業者の訪問	訪問件数	数値		C	事業者の訪問に替えて、多量排出事業者の減量化等計画書へのフォローアップを行ったことから、Cとした。	資源循環課
	⑤事業系直接搬入ごみの分別指導	定期的な指導	数値外		B	搬入物調査による分別指導を実施できたが、効果があまりなかったことから、Bとした。	資源循環課
6. 受益者負担の適正化	①ごみ有料化の検証	実施の有無	数値外	A	A	ごみ有料化を実施し、その効果検証を進めたことから、Aとした。	資源循環課
	②一般廃棄物処理手数料改定の検証	実施の有無	数値外		A	手数料改定を実施し、その効果検証を進めたことから、Aとした。	資源循環課

【基本方針Ⅱ】資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムの構築

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価理由	担当課	
1. 収集・運搬 (1)ごみを取り巻く環境の変化に対応した収集・運搬の検討	①効率的でバランスの良い収集区割の調査・検討	実施の有無	数値外		A	有料化実施に併せ、民間委託を含めた新たな収集体制を構築し、サービス水準を維持したうえでの減車をを行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)	
	②今後の社会情勢を踏まえた集積場所のあり方、収集方法の検討	実施の有無	数値外			A	安心まごころ収集について、適切に実施するとともに、令和4年度からの制度拡大について滞りなく行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
(2)環境と安全に配慮した収集・運搬の実施	①環境負荷の少ない収集車両の積極的な導入	導入台数	数値		B	C	車両の導入実績がなかったことから、Cとした。	環境事業センター (業務担当)
	②環境指導員との連携による集積場所の安全確保	研修会及び意見交換会の開催	数値外			A	環境指導員地区会議を開催し、環境指導員との意見交換を通じて、集積場所の安全確保を図れたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	③環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究及び積極的な導入	研修会等実施実績	数値外			A	安全運転の研修(1回)、安全作業の研修(1回)を行い、収集運搬技術の向上を図れたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
2. 中間処理 (1)中間処理施設の整備	①リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営	実施の有無	数値外		A	A	施設の適正かつ効率的な運営に向け、隔月で運営全体会議を開催し、意見交換を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	②粗大ごみ処理施設の整備	実施の有無	数値外			B	入札が物価上昇等の要因により中止となったが、事業スケジュールや事業費を見直したことで再入札公告を実施でき、概ね予定どおり進捗していることから、Bとした。	資源循環
	③焼却処理施設の大規模改修	実施の有無	数値外			A	保守点検の結果に基づく適正な修繕を実施して性能水準を保ち、ごみの適正処理を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
(2)中間処理残渣の減量化・再資源化の促進	①焼却残渣再資源化方法の調査・研究	調査・研究の有無	数値外		A	A	新たな再資源化事業者を開拓し、地元自治体との協議が整ったことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	②焼却残渣再資源化の促進	焼却残渣再資源化量	数値			A	目標達成率107.7%、前年度比360t増となったことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	③中間処理残渣の減量化・再資源化に繋がる中間処理技術の研究	研修会等への参加実績	数値外			A	次年度にばいじんの量を減らすための試験計画を立てたことから、Aとした。	環境事業センター (管理担当)

3. 最終処分	①焼却残渣の減量施策の実施	焼却処理量	数値	A	A	目標達成率93.1%、前年度比7,516+減となったこと から、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	②最終処分場の安全管理の実施	実施の有無	数値外		A	施設の保守点検及び修繕を行い、適正処理を行ったこと から、Aとした。	環境事業センター (管理担当)
	③最終処分に関する検討	検討の有無	数値外		B	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、地元関係 団体との定例会は開催できなかったが、書面にて各種 調査結果等の報告を行ったことから、Bとした。	環境事業センター (管理担当)
4. 茅ヶ崎市域災害廃棄物の 処理	①災害廃棄物発生想定量の把握及び処理・処分に関する マニュアル等の整備	発生量想定方法等の検討・マ ニュアル改定の有無	数値外	A	A	災害廃棄物処理業務マニュアルをより実効性のあるも のとするための検討を行ったことから、Aとした。	資源循環課
5. 適正処理 (1)処理困難物等の処理方 法についての情報の充実	①処理困難物の処理方法等についての情報の充実	広報実績	数値外	A	A	「ごみと資源物の分け方・出し方」への掲載や環境指 導員への周知を図れたことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	②製品の適正なりサイクルルートの周知	情報発信の有無	数値外		A	SNSを含め各種媒体により製品の適正なりサイクルル ートの周知を図れたことから、Aとした。	資源循環課
(2)不法投棄に対する防止 策の検討	①重点地域・強化期間等を定めたパトロール・監視の強化	パトロール・監視実績	数値外	A	A	不法投棄の防止に向け、パトロールの実施や不法投棄 防止看板、監視カメラの設置を行ったことから、Aとし た。	環境事業センター (業務担当)
	②県や警察との協力関係の強化	パトロール・監視実績	数値外		A	連絡会を開催し、不法投棄対策に関する協議や意見 交換を行ったことから、Aとした。	環境事業センター (業務担当)
	③市民、事業者と連携した不法投棄の防止	不法投棄量	数値		B	不法投棄量は減少したが(前年度比49%減)、不法投 棄件数は増加したことから(前年度比66件増・181 件)、Bとした。	環境事業センター (業務担当)
	④キャンペーン等啓発活動の実施	活動実績	数値外		A	「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」の中で通常パト ロール以外のコースのパトロールを行ったことから、Aとし た。	環境事業センター (業務担当)
	⑤不法投棄に関する調査・研究の実施	調査・研究の有無	数値外		A	(一財)家電製品協会と助成金に関する覚書を締結 し、不法投棄対策に関する助成制度を活用したことから、 Aとした。	環境事業センター (業務担当)

【基本方針Ⅲ】市民・事業者・行政の協力体制及び4Rの推進を誘発する支援体制の確立

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価理由	担当課
1. 広報紙等各種媒体の利用による啓発の充実	①広報手法・広報内容の検討及び効果的な啓発の実施	実施の有無	数値外		A	ごみ有料化に伴う排出量の速報値等を広報媒体で周知したことから、Aとした。	資源循環課
	②ホームページ、ハーマニアスちがさき(市の広報番組)等の積極的な活用	実施の有無	数値外			ごみ有料化に関する情報をホームページ上で都度更新し、また、食品ロスに関するページのリニューアルを行い、広報媒体を活用したことから、Aとした。	資源循環課
	③公共施設等におけるポスター掲示の活用	実施の有無	数値外			地域の広報掲示板を活用し、ごみ有料化に伴う排出量の速報値等を周知したことから、Aとした。	資源循環課
	④外国人向けごみ情報の案内	実施の有無	数値外			「ごみと資源物の収集カレンダー」・「ごみと資源物の分け方・出し方」のホームページへの掲載(8カ国語対応)に加え、配布している「ごみと資源物の分け方・出し方」に英語・中国語による概要版を掲載したことから、Aとした。	環境事業センター(業務担当)
2. ごみ問題に関連した市民対話・環境学習等の充実	①ごみ問題に関する市民との意見交換会の実施	実施実績	数値外		A	16自治会等に対して出前講座(環境学習会)を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	②発生抑制、資源化に関する講演会の開催	開催実績	数値外			新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、講演会を中止したことから、Cとした。	資源循環課
	③児童向け環境学習への市職員の派遣	派遣実績	数値外			小学校19校のうち14校に職員を派遣し、計1,421人を対象に環境学習会を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	④親子向け、市民グループ向け等多方面への廃棄物処理施設見学会の実施	実施実績	数値			施設(環境事業センター)見学会を18回開催し、延べ1,473人の方々にお越しいただいたことから、Aとした。	環境事業センター(管理担当)
	⑤市民、事業者向け講座の開催	開催実績	数値外			16自治会等に対して出前講座(環境学習会)を行ったことから、Aとした。	資源循環課
	⑥環境フェアにおける情報発信	開催実績	数値外			「ちがさき環境フェア2022」において、フードドライブを行い、食品ロス削減によるごみ減量の周知啓発を行ったことから、Aとした。	資源循環課

第2編 生活排水処理基本計画

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価	市の評価理由	担当課
基本目標	生活排水処理率(%)	生活排水処理率	数値		A	A	目標達成率99.9%、前年度比0.2ポイント増となったことから、Aとした。	下水道河川建設課

【基本方針Ⅰ】公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の整備促進による生活排水処理の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価	市の評価理由	担当課
1. 公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の普及推進	①公共下水道(汚水)整備事業の推進	汚水面整備率	数値		A	A	目標達成率98.2%、公共下水道処理区域面積は0.29ha増となったことから、Aとした。	下水道河川建設課
	②水洗化奨励金制度等の活用による公共下水道への接続の促進	水洗化普及率	数値			A	目標達成率99.0%、前年度比0.1ポイント増となったことから、Aとした。	下水道河川総務課
	③補助制度の周知による合併処理浄化槽への転換の促進	補助事業により合併処理浄化槽を設置した基数	数値			A	目標達成率100%、2基(5人規模)の補助となったことから、Aとした。	下水道河川建設課

【基本方針Ⅱ】安定した収集・運搬と、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価	市の評価理由	担当課
1. し尿及び浄化槽汚泥の適正処理	①し尿、浄化槽汚泥量の変化に対応した収集・運搬計画	計画策定	数値外		A	A	排出量に対応した収集運搬計画を策定し、委託業者と円滑かつ適切な収集・運搬を行ったことから、Aとした。	環境保全課
	②し尿処理施設の適正な維持・管理	実施の有無	数値外			A	寒川町と連携し、適正な維持管理を行ったことから、Aとした。	環境保全課

【基本方針Ⅲ】水環境の向上に向けた啓発活動等の推進

項目	施策	評価指標	評価方法	審議会の評価	市の評価	市の評価	市の評価理由	担当課
1. 啓発及び情報提供	①浄化槽の清掃の啓発	活動の有無	数値外		A	A	浄化槽の清掃作業に関して、利用者に対し検査の案内と併せて清掃の説明も行うなど、直接効果的な啓発を実施できたことから、Aとした。	環境保全課
	②広報紙等による情報発信	活動実績	数値外			A	市民便利帳ちがさき生活ガイドなど複数の媒体で情報発信することができたことから、Aとした。	環境保全課